

トリセツアプリ開発の協力者募集

細川茂樹アプリ開発プロジェクト

本誌2月号で募集したベータテスターの皆様から「どこでもトリセツ」のベータ版に対し多くのご意見をいただき、ありがとうございました。現在、皆様からのご意見を反映し、実用的なアプリとして公開するため、アプリやサーバの改善を、お茶の水女子大、および名古屋大の有志学生が進めています。

本プロジェクトでは、「どこでもトリセツ」の早期公開や完成度向上を目指し、8月初旬に最終追い込みのための夏合宿（公立はこだて未来大を予定）を企画しています。詳細はWebでお知らせいたしますので、本プロジェクト（Androidアプリ開発、サーバ開発（Java）、ユーザテスト等）にご協力いただける方はぜひご参加をお願いします。ただし、現地までの交通費および宿泊費は自己負担となりますのでご了承ください。

夏合宿には、細川茂樹さんも参加される予定です。意欲ある若い皆様のご参加をお待ちしています。

詳細ページ：<http://www.ipsj.or.jp/hosop/summer5307.html>

なお、開発の進捗を待つため、連載「細川茂樹アプリ開発プロジェクト」は、しばらく休載いたします。夏合宿の成果は本誌10月号で報告する予定です。

論文なんて関係ないと思っている方も論文を書いてみませんか？

「デジタルプラクティス」は、本学会が発行しているJIP、論文誌ジャーナル、トランザクションに次ぐ第4の論文誌です。現在、皆様からの論文募集中ですので、以下の案内をご覧ください。奮ってご投稿ください。

▶ http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/shippitsu_annai.html

JIP、論文誌ジャーナル、トランザクションは従来の学術的な成果をターゲットにしていますが、デジタルプラクティスは現場の知恵、創意工夫、教訓など実践的な知見をターゲットにしています。現場にいる他のIT技術者にとり役に立つ実践的な知見なら自分も持っていると思われた方は少なくないと思います。そんな方にこそデジタルプラクティスの論文を書いていただきたいと思っています。

論文の形にまとめることは、まず、世の中の多くの人々に皆様の知見が行き渡ることを、使ってもらえる機会が増えることを意味します。次に技術者としての長期的なキャリアを考えたとき、論文はこれまで自分がやってきた仕事や成果を永続的な形で残す最も有効な方法の1つになります。つまり、論文は時間と空間を越えて知見をスケールさせるツールなのです。

これからの時代、IT技術者は組織に閉じ籠るのではなく、一人一人が世の中から頼られるような存在にならなければならないと思います。それがIT技術者がより充実して活躍できる世の中であり、デジタルプラクティスはそのような世の中の訪れを後押ししたいと思います。

実際にデジタルプラクティスへ投稿されるときは、どうぞもっとリラックスしてください。論文を書き馴れていない著者の方々のために、2ページ以内の概要原稿を受け付けるようにしました。以下のような投稿準備フォームも用意しました。

▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/outline-guideline.html>

そして、各論文ごとに個別に編集担当者を割り当てて、共同推敲という著者と編集担当者が協調して論文を改訂するプロセスを取り入れました。

▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/submit/dp-sadoku.html>

より詳しくはデジタルプラクティスのWebページをご覧ください。

▶ <http://www.ipsj.or.jp/dp/dp-index.html>

事務局 editdp@ipsj.or.jp までお気軽にお問い合わせください。





論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.53 No.6 (June 2012)

【特集：パズルの数理】

- 特集「パズルの数理」の編集にあたって 伊藤大雄
- 石取りゲームの変種であるチョコレートゲーム 中村駿佑 他
- 立方体上の n -クイーン問題と n -ルーク問題 藤原美早紀 他
- Enumerating 3D Sudoku Solutions over Cubic Pre-Fractal Objects Hideki Tsuiki 他
- 3*N AB Game の最適戦略 篠田正人
- Rogo, a TSP-based Paper Puzzle: Optimization Approaches Shane Dye 他
- Squaring the Square with Integer Linear Programming Sascha Kurz
- Meta-envy-free Cake-cutting and Pie-cutting Protocols Yoshifumi Manabe 他
- Kurodoko is NP-complete Jonas Kölker
- The Magnets Puzzle is NP-complete Jonas Kölker
- Selected Slither Link Variants are NP-complete Jonas Kölker
- NP-completeness of Generalized Kaboozle Ryuhei Uehara 他
- Rolling Block Mazes are PSPACE-complete Kevin Buchin 他
- NP-Completeness of Pandemic Kenichiro Nakai 他
- マルコフ決定過程のロールプレイングゲームへの適用 前田康成 他

■ 四川省パズルにおける状態空間構造を利用した難易度判定

是川 空 他

■ 確率的最適化を用いた絵画的迷路生成

池田 心

■ How to Produce BlockSum Instances with Various Levels of Difficulty Kazuya Haraguchi 他

【一般論文】

■ 開発履歴マトリクスを用いた細粒度な Fault-prone モジュール予測 畑 秀明 他

■ A Pairing-Based Anonymous Credential System with Efficient Attribute Proofs* Amang Sudarsono 他

■ 機械翻訳の品質向上のための対訳コーパスからの統計的前編集システムの自動構築 南條浩輝 他

■ 広域文書類似度と局所文書類似度を用いた講演音声ドキュメント検索 南條浩輝 他

■ Estimating Message Importance using Inferred Inter-Recipient Trust for Supporting Email Triage Sho Tsugawa 他

*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト

【論文誌 数理モデル化と応用 Vol.5 No.2 (June 2012)】

- 流動性リスクと株価リターン：レジームスイッチングモデルによる検証 伊東賢二 他
- 複数許容解を発見する改良 ABC アルゴリズムによる大規模無線センサネットワークを対象としたフラッディング送信電力の調整 宇谷明秀 他
- ユーザフィードバックを用いた重み付き自己組織化マップ 久田大地 他
- Semi-Supervised Ligand Finding Using Formal Concept Analysis Mahito Sugiyama 他
- スパースコーディングを用いた新生ニューロンをもつ連想記憶モデルの相互情報量による最適化と指数的忘却との比較 綴木 剛 他
- 共和分を利用した株式テクニカル投資戦略 佐々木豊史 他

【Transactions on Bioinformatics Vol.5 (June 2012)】

■ Predicting Three-way Interactions of Proteins from Expression Profiles Based on Correlation Coefficient Etsuko Inoue 他

【論文誌 データベース Vol.5 No.2 (June 2012)】

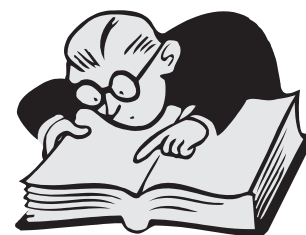
■ 多対多の関係性を持つ多言語用例対訳グラフにおけるメタノード作成手法 福島 拓 他

■ Query Snowball: A Co-occurrence-based Approach to Multi-documents Summarization for Question Answering Hajime Morita 他

■ Error Control for High-Density Monochrome Two-Dimensional Barcodes Ramon Francisco Mejia 他

■ 言語横断情報検索における画像手がかりを用いたインタラクティブな翻訳曖昧性解消の評価 林 良彦 他

■ Tweet 分析による群衆行動を用いた地域特徴抽出 李 龍 他



「情報処理」 カタログ同封サービスの ご案内

？
 カタログ同封
 サービスとは？

毎月会員に配布している学会誌に貴社/貴校のカタログや広告を同封し、直接読者にお届けするサービスです。
 通常のDMと異なり学会誌に同封しますので、読者の開封率は格段に上がります。また、カタログ送付にかかるコストを最小に抑えることができ、なおかつ情報処理を専門とする読者にターゲットを絞った効果的な案内を出すことが可能となります。

お申し込み方法と掲載までの手続き

- 封入希望月の前月 15 日までに下記事項を記載の上、問合せ先までお申し込みください。
 - ◆会社名, 担当者, 連絡先 (住所、Tel、Fax、E-mail) ◆封入希望月
 - ◆サイズ ◆カタログの簡単な内容説明
 - ◆割引対象にあたる場合はその旨記載ください。
- 封入希望月の遅くとも前月末日までに下記事項について手配をお願いします。
 - ◆カタログ見本を問合せ先までお送りください (PDF、Fax 可)。
 - ◆納品業者をお知らせください。
- 納品日は封入希望月の 5 日 (土曜、日曜、祝日の場合は翌営業日) です。日付指定にて必要枚数 (23,000 枚) を印刷し指定の納品先へお送りください。
 - ※納品先は、お申し込み後にご連絡いたします。
 - ※納品が遅れますと同封ができない場合がございます。その場合はキャンセルとさせていただきます。
- カタログを同封した学会誌を発行日にお送りしますので、ご確認ください。
- 後日請求書をお送りしますので振込手続きをお願いします。

☎ 問合せ先

[広告代理店] アドコム・メディア (株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
 〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 Tel.(03)3367-0571 Fax.(03)3368-1519

1 通あたり
 約16 円!

※価格はすべて税込

基本価格 367,500 円

対象：全会員 23,000 通 配布

(正会員 / 名誉会員 / 学生会員 / 賛助会員)

大学や
 共催事業は
 さらに割引も!

大学 / 研究所 / 賛助会員または情報処理学会主催・共催事業は、下記のとおり割引料金が適用されます。

大学 / 研究所 / 賛助会員
 (基本価格の 40% Off!) 220,500 円

情報処理学会主催・共催事業*
 (基本価格の 80% Off!) 73,500 円

*情報処理学会研究会主催、共催を含む

サイズ：A4 判または A3 判二つ折り (その他についてはご相談ください)
 用紙：色上質厚口 (四六判 80kg) またはコート紙 (四六判 90kg) 相当

一般社団法人情報処理学会 会誌編集部 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 Tel.(03)3518-8371 Fax.(03)3518-8375

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「放送人の課題」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■最近の巻頭コラムにおける人選には疑問を感じる人が多い。会誌としては、もう少し情報系での著者を重視すべきではないか。(匿名希望)

■本誌とどのような接点を持って何を語りたのかが不明確であった。(匿名希望)

特集「日本を元気にするICT」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■特集の意図は分かりやすく、また個別のエッセイ風の記事も読みやすくよかった。ただ記事12件の著者の多くは大学関係者で、企業のメンバが少なかったのは残念である。(五味 弘)

■件数を減らしてもよいので、テーマを絞って、それぞれの内容をより詳しく知りたい。(西尾建男)

■内容が専門的であり、非専門家には興味が持ちにくい記事だった。自分たちの持つべきコンセプトを見つめ直す必要があると思う。(匿名希望)

■幅広い情報分野に関心を持つ人々に訴える記事となっており、会誌として意義深いと思う。(匿名希望)

「編集にあたって」

■DICOMOはそれほど周知の言葉ではないため、説明を加える必要があると思う。(匿名希望)

「2. つながり続けるためのICT」

■著者の述べているところの「第三者的視点」で書かれているように思う。ここで述べられていることを将来も大いに役立てるような啓蒙活動の端緒になればいいと思う。(匿名希望)

「3. 学と民との協働によるシステム開発」

■具体的なシステム開発の事情や困難さがよく分かる記事だった。このような現実を目の当たりにすると、有用なシステム開発を研究者として評価する仕組みが必要ではと感じた。(匿名希望)

「4. スマートフォン向け適正アプリの開発と配信サイト」

■業界の内部事情がよく分かった。(匿名希望)

■オンラインゲームの否定的側面も、もっとしっかり記述すべきだと思う。(匿名希望)

「5. スマートフォン向け屋内測位技術の動向と新技術の紹介」
■「日本を元気にする」ことにどう繋がるかをもう少し書いてほしかった。(米澤 恵)

「6. 日本を元気にするもったいない精神」
■「もったいない精神」は、今回の震災でも日本の強みであることが世界的にも認められたようです。この精神による行動を、より工学的な面から整理し、経済面を含めた積極策に繋がるようになっていけばと思います。(宮入 勉)

「7. ICTですべての世代を元気にしよう」
■この種のエッセイ的記述は、自由な発想を生むので良いと思う。(匿名希望)

「11. 仮想化の仮想」
■テーマに対して一番飛躍した発想の記事で面白かった。(米澤 恵)

■空論をぶっているように感じられあまり共感できなかった。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:コラム:一般情報教育不要論?」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■大学できっちりしたりベラル・アーツ教育を行うべきという著者の主張には共感できる。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:JANOG27 Meeting『高校の情報の授業を知っていますか?』」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■記事の重要な部分が参考文献として掲載されているのみに感じられ残念であった。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:イノベーション経営カレッジの取り組み」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■このプログラムの趣旨からすると、真に結果が出るのは10年以上先に思える。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:産学協働ICT人材育成の取り組み」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■コースの紹介記事としてはまずまずだと思うが、むしろ、もっと具体的な内情に関する記述がある方がより良いと思った。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:特別コラム:お大師様を訪ねて(3)赤鬼ボブ・ホーナー」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■アメリカの学生が日本と比してはるかに勉強することは周知ながら、それを再認識させていることに意味がある記事だと思う。(匿名希望)

解説「任意の凸多面体は重なりのない展開図に展開できるだろうか？」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■興味深く読み通せました。こうした完結型の解説記事である程度ページ数があってじっくり読めるものが続いてほしいと思いました。(匿名希望)

■計算に必要な個々の数値を並べるより、計算量を記述した方が、アルゴリズムの解説としてはぴったりくるのではなからうかと思う。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題:創る」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■記事の主旨に同意できない。(平林健二)

解説「IPv4/IPv6 共存環境下における IX の役割」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「時宜を得ていた」記事だと思う。IPv4 アドレスの枯渇の問題の概略が示されていて、読者にある程度までの満足感を与えることができる記事だと思った。(匿名希望)

連載「細川茂樹 アプリ開発プロジェクト:第3回 アイディア・技術求む」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■記事の内容に実のあるところが感じられなかった。この種の記事が最近の会誌に多いように感じられる。(匿名希望)

「I」見聞録:函数プログラミングの集い 2011 in Tokyo」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■各講演内容が簡潔にまとめられていて、自己完結型で良いと思う。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■企業や個人で実際に情報処理システムの開発をしている方々に、現場からのメッセージという形でコメントしていただいたものを読みたい。学校で習った理論が、どのように活かされ実装されているのかまで記述してもらえると、今後情報系に進もうと考えている若い人たちに、参考になるのではない。(平林健二)

■教育コーナーの割合をもっと増やしてほしいと思う。企業での情報系教育も取り上げてほしい。(五味 弘)

■公衆無線 LAN の進展—現状と問題点/コンピュータ囲碁ソフトの進展/関数プログラミングについての入門記事や応用に関する記事/各人がよく利用しているお薦めの Web サイトやアプリケーションの紹介記事を取り上げてほしい。(西尾建男)

■函数プログラムを含め、さまざまなプログラム言語のパラダイムを系統的かつ哲学的に簡単な例題を用いて解説してほしい。(匿名希望)

■最近のビッグデータに対する技術、特にストリーミング分析(リアルタイム分析)技術について取り上げていただければと思います。(匿名希望)

■カラー(2色刷り?)である必要がない論文がいくつか見受けられた。もったいない気がする。(匿名希望)

■A4で1段組の記事は読みづらいです。(匿名希望)

【本欄担当 加藤 豪, 岸本頼紀/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>> にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもお参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想, 意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見, 提言
- ・その他, 情報処理技術についての全般的な意見, 提言

など自由なご意見, ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見, ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「危機管理の視点を考慮したインターネットと運用技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IOT.html	6月18日(月)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集 への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-C.html	6月20日(水)		
	論文誌「音楽情報処理の新展開(音楽情報科学研究会20周年 記念特集)」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-MUS.html	7月2日(月)		
	論文誌「パズルの数理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-PUZ.html	7月31日(火)		
	デジタルプラクティス「要求工学で情報システム開発を変える： ユーザとベンダのWin-Win Wayへ」特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0402s.html	8月3日(金)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of SAINT 2012」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-D.html	10月15日(月)		
6月15日(金)	第49回高度交通システム研究発表会 http://www.yshr.net.it-chiba.ac.jp/sigits/kenkyukai/kenkyukai1206cfp.html	4月27日(金)	当日のみ	首都大学東京 秋葉原 サテライトキャンパス
6月21日(木)～	第89回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro89.html	4月20日(金)	当日のみ	小樽市民センター
6月22日(金)	第147回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg147.html	4月27日(金)	当日のみ	お茶の水女子大学
6月25日(月)	連続セミナー 2012 第1回「ビッグデータの解析と価値発見」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2012/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
6月28日(木)	第18回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot18.html	5月18日(金)	当日のみ	東京学芸大学
6月28日(木)～	第29回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio29.html	4月13日(金)	当日のみ	沖縄科学技術 大学院大学
7月4日(水)～	マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2012) シンポジウム http://www.dicom.org/2012/cfp.html	3月9日(金)	6月7日(木)	山代温泉 ホテル百万石
7月7日(土)	第115回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce115.html	5月18日(金)	当日のみ	獨協大学
7月13日(金)	第28回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi28.html	5月7日(月)	当日のみ	静岡県立大学
7月13日(金)～	第35回ユビキタスコンピューティングシステム・ 第25回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi35ec25.html	5月21日(月)	当日のみ	東北大学 電気通信研究所
7月16日(月)～	The 2012 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2012) http://snowman.nagaokaut.ac.jp/saint/			トルコ(イズミール)
7月17日(火)	連続セミナー 2012 第2回「個人データの保護と活用」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2012/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
7月19日(木)	第177回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se177.html	6月6日(水)	当日のみ	大阪大学銀杏会館
7月19日(木)～	第58回コンピュータセキュリティ・第4回セキュリティ心理学 とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec58spt4.html	5月16日(水)	当日のみ	北海道工業大学
7月19日(木)～	第77回オーディアビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm77.html	5月22日(火)	当日のみ	日本大学 三崎町キャンパス
7月20日(金)	第154回データベースシステム・第107回情報基礎と アクセス技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs154ifat107.html	6月6日(水)	当日のみ	名古屋大学 東山キャンパス
8月4日(土)	第95回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch95.html	6月8日(金)	当日のみ	京都大学
8月9日(木)～	第96回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus96.html	6月11日(月)	当日のみ	石川県金沢市 近江町交流プラザ
8月11日(土)	情報教育シンポジウム2012(SSS2012) http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2012	5月28日(月)	当日可	静岡県三保園ホテル
8月20日(月)～	CollabTech2012 6th International Conference on Collaboration Technologies http://www.collabtech.org/			北海道大学 国際交流会館
8月27日(月)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2012 (SES2012) http://ses2012.ohsuga.is.uec.ac.jp/	5月7日(月)		東京電機大学
8月27日(月)	DA シンポジウム2012 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2012.html	5月18日(金)		下呂温泉水明館
8月29日(水)	平成24年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月15日(金)		秋田県立大学 本荘キャンパス
8月30日(木)～	平成24年度電気関係学会北陸支部連合大会 http://jhes.pu-toyama.ac.jp/	7月12日(木)		富山県立大学
8月31日(金)	FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/			法政大学 小金井キャンパス
9月1日(土)～	平成24年度関西支部支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_24/index.html	6月22日(金)		大阪大学 中之島センター

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月24日(月)～	平成24年度電気関係学会東海支部連合大会	7月13日(金)		豊橋技術科学大学 (豊橋市)
9月25日(火)	http://www.ieice.org/tokai/rengo2012/			
9月24日(月)～	平成24年度電気関係学会九州支部連合大会	7月17日(火)		長崎大学 文教キャンパス
9月25日(火)	http://www.jceee-kyushu.jp/			
9月25日(火)	連続セミナー 2012 第3回「都市をマネジメントするビッグデータの可能性」		定員になり次第	化学会館7Fホール
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2012/index.html			
10月10日(水)	連続セミナー 2012 第4回「ソーシャルメディアの大規模ネットワーク分析」		定員になり次第	化学会館7Fホール
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2012/index.html			
10月16日(火)～	組込みシステムシンポジウム2012 (ESS2012)	6月21日(木)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月19日(金)	http://www.sigemb.jp/ESS/2012/			
10月17日(水)～	第20回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS2012)	6月29日(金)		ホテル奥道後
10月19日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2012.html			
11月7日(水)～	The Seventh International Workshop on Security (IWSEC2012)			九州大学 西新プラザ
11月9日(金)	http://www.iwsec.org/			
11月11日(日)～	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議			つくば国際会議場
11月15日(木)	http://www.icpr2012.org/			
11月19日(月)	連続セミナー 2012 第5回「ビッグデータに立ち向かう機械学習」		定員になり次第	化学会館7Fホール
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2012/index.html			
12月6日(木)	連続セミナー 2012 第6回「ビッグデータ時代の自然言語処理」		定員になり次第	化学会館7Fホール
	http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2012/index.html			
2013年				
	東海支部学生研究発表会助成	2月28日(木)		
	http://www.ipsj-tokai.jp/			
3月6日(水)～	情報処理学会 第75回全国大会			東北大学 川内キャンパス
3月8日(金)	http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/75/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 5月15日 人材募集情報 (Vol.53 No.6)
- 5月10日 2012年度定時総会の開催について
- 5月7日 デジタルプラクティス「要求工学で情報システム開発を変える: ユーザとベンダの Win-Win Way へ」特集論文募集
- 4月27日 [プレスリリース] 1st IPSJ International AI Programming contest "SamurAI coding" の開催

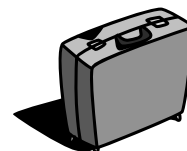
書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
 - a) 書評 : 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。



3. 応募の手続き

- 1) 表題: 書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名(会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先(住所、E-mail、Faxなど)の記載を忘れずに。
- 3) 本文: 書評、会議レポートとも2,100字前後で書く。
- 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「原稿執筆のご案内/書評・会議レポート」(<http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/shohyonews.html>)を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 一般社団法人情報処理学会 会誌編集部門 E-mail:editj@ipsj.or.jp

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか?

広告をIPSJメールニュースで配信しています。本学会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配信数: 約9,000通(原則毎週月曜日配信)
- 読者層: 本学会員および非会員
- 形式: テキストのみ。等幅半角70字×5行。URLを入れてください。
- 掲載位置: ヘッダ(目次の上)
フッタ(本文の最下行)
- 掲載料: ヘッダ: 1回52,500円(税込)
フッタ: 1回21,000円(税込)
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申込先: [広告代理店]
アドコム・メディア(株) E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切: 毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見本:

— [広告] —
■■■■ ○○セミナー ■■■■
開催日時: 1月10日(火)・11日(水)・12日(木) 13:00~17:00
会場: ○○コンベンションセンター
会費: 情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください: <http://www.....com/>

— [広告] —



CAMPAIGN OF JIP FOR FREE PUBLICATION CHARGE

The Editorial Committee of the Journal of Information Processing (JIP) is very pleased to announce one year extension of the campaign of free publication. The publication fee is not charged for the accepted papers submitted by July 31 2013 regardless of authors' membership. It would be grateful if you could take this opportunity and submit your papers to the flagship international journal, JIP.

JIP (Journal of Information Processing) に採択された英文論文の掲載料を無料にするキャンペーンを行っています。

対象は 2013 年 7 月 31 日までに投稿された英文論文です。これは、非会員による投稿論文にも適用されます。

このキャンペーンを利用して、ぜひ多くの英文論文をご投稿ください。 http://www.ipsj.or.jp/english/jip/submit/prms_side.html

情報処理学会 論文誌ジャーナル, JIP (Journal of Information Processing) では、随時、一般論文・テクニカルノートの投稿受付をいたしております。

また、特集号の論文募集も数多くいたしておりますので、ぜひ学会 Web ページの最新情報をご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/journal/index.html>, <http://www.ipsj.or.jp/english/jip/index.html>

Journal of Information Processing (JIP) は、インターネット上のオンライン媒体 J-STAGE にて季刊発行しています。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ipsjip/>

Contact to Technical Activity Section, Information Processing Society of Japan (IPSJ) E-mail: editt@ipsj.or.jp

個人会員優待サービス

個人会員（正会員・名誉会員・終身会員・学生会員）の皆様にご利用いただける各種優待サービスをご案内いたします。

詳細は学会 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/member/other/yutai.html>

■ホテル 【割引率 10～53%】

| JR ホテルグループ | グランビスタ ホテル&リゾート | サンルートホテルチェーン | ダイワロイヤルホテルズ | 東急ホテルズ | 阪急阪神第一ホテルグループ | ホテル法華クラブ | プリンسホテル | 都ホテルズ&リゾート | FUJIYAMA 倶楽部 | ウィークリーマンション東京 |

■レンタカー 【割引率 10～51%】

| ニッポンレンタカー | 日産レンタカー | マツダレンタカー |

■パック旅行 【割引率 2～5%】

| (株) 日本旅行 | 近畿日本ツーリスト (株) | トップツアー (株) | 京王観光 (株) |

■その他

| UC 丸善アカデミックカード | (株) パーシティウェブ | デスカット |



新刊!!

**ITText
メディア学概論**

山口治男 著
A5判/172頁/本体2,400円 (税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピュータ**

河村一樹・和田 勉・山下和之・立田ルミ・
岡田 正・佐々木整・山口和紀 共著
A5判/176頁/本体2,200円 (税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とネットワーク社会**

駒谷昇一・山川 修・中西通雄・北上 始・
佐々木整・湯瀬裕昭 共著
A5判/192頁/本体2,200円 (税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報と社会**

駒谷昇一 編著
A5判/220頁/本体2,500円 (税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報システム基礎**

神沼靖子 編著
A5判/228頁/本体2,500円 (税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング**

河村一樹 編著
A5判/218頁/本体2,500円 (税別)

ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判/212頁/本体2,800円 (税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・
向井信彦 共著
A5判/280頁/本体3,000円 (税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円 (税別)

ITText 音声認識システム 

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円 (税別)

ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円 (税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円 (税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円 (税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収久・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円 (税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円 (税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円 (税別)

ITText 人工知能

本位田真一 監修 松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判/200頁/本体2,500円 (税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判/236頁/本体2,800円 (税別)

ITText データマイニングの基礎

元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著
A5判/292頁/本体3,200円 (税別)

ITText 自然言語処理

天野真家・石崎 俊・宇津呂武仁・成田真澄・福本淳一 共著
A5判/192頁/本体2,500円 (税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/210頁/本体2,500円 (税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円 (税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円 (税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円 (税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円 (税別)

ITText ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円 (税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円 (税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円 (税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円 (税別)

ITText 分散処理

谷口秀夫 編著
A5判/240頁/本体2,800円 (税別)

ITText Linux演習

前野謙二・落合 昭・生野荘一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著
A5判/224頁/本体2,500円 (税別)

ITText インターネットプロトコル

阪田史郎 編著
A5判/272頁/本体2,800円 (税別)

ITText 組込みシステム

阪田史郎 著 高田広章 編著
A5判/280頁/本体3,000円 (税別)

ITText システムLSI設計工学

藤田昌宏 編著
A5判/242頁/本体2,800円 (税別)

ITText Java基本プログラミング

今城哲二 編 布広永示・マッキン ケネスジェームス・
大見嘉弘 共著
A5判/234頁/本体2,500円 (税別)

ITText 人画像処理

越後富夫・岩井儀雄・森島繁生・鷺見和彦・井岡幹博・
八木康史 共著
A5判/258頁/本体2,800円 (税別)

ITText 情報理論

白木善尚 編 村松 純・若田賢一・有村光晴・渋谷智治 共著
A5判/248頁/本体2,800円 (税別)

ITText Java/UMLによるアプリケーション開発

布広永示・高橋英男 共著
A5判/208頁/本体2,600円 (税別)

ITText Javaオブジェクト指向プログラミング

布広永示 編著
A5判/280頁/本体2,800円 (税別)

ITText ユビキタスコンピューティング

松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/222頁/本体2,800円 (税別)

ITText HPCプログラミング

寒川 光・藤野清次・長嶋利夫・高橋大介 共著
A5判/246頁/本体2,800円 (税別)

ITText 確率統計学

須子統太・鈴木 誠・浮田善文・小林 学・後藤正幸 共著
A5判/264頁/本体2,800円 (税別)

ITText 離散数学

松原良太・大鷲彰昇・藤田慎也・小関健太・
中上川友樹・佐久間雅・津垣正男 共著
A5判/256頁/本体2,800円 (税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報ネットワーク**

岡田 正・駒谷昇一・西原清一・水野一徳 共著
A5判/160頁/本体2,300円 (税別)

お申し込みは



101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03 (3233) 0641 FAX 03 (3293) 6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格 (税別) は変更する場合があります。

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■ (株)トヨタ IT 開発センター

募集人員 シニアリサーチャー 2名
 所 属 研究部
 専門分野 ①データマイニング, 機械学習, ②人間工学, ヒューマンインタラクション
 業務内容 ①ビッグデータを用いた人間特性, 運転特性, 車両移動に関する解析とそれに基づく用途提案, ②先端技術動向調査とそれに基づく先進的なインタフェースの提案
 応募資格 博士の学位を有する方, 企業研究所での研究経験をお持ちの方, 大学・研究機関・ベンチャー企業との共同研究を経験された方, 英語での議論が可能な方
 着任時期 できる限り早い時期
 提出書類 履歴書 (学歴, 受賞歴, 資格, 連絡先を記載), 職務経歴書
 応募締切 順次選考, 採用が決まり次第終了
 送付先 〒107-0052 東京都港区赤坂6-6-20 (株)トヨタ IT 開発センター 採用担当 田中 E-mail:ta-tanaka@jp.toyota-itc.com
 *応募書類は返却いたしません
 その他 勤務形態: 正社員, 勤務地: 東京都港区

■愛媛大学大学院理工学研究科

募集人員 助教 1名 (任期5年, 再任有 (原則3年))
 所 属 電子情報工学専攻情報工学講座
 専門分野 分散処理, およびその関連分野
 担当科目 情報工学分野の講義, 実習, 実験, 共通教育科目など
 応募資格 (1)博士または Ph.D の学位を有するか, 着任時までに取得見込みの方, (2)専門分野において優れた研究業績を有する方, (3)教育, 研究に熱意を持ち, 上記専門分野の現員教員と連携し, 学生指導, 研究推進を行える方, (4)組織の運営や社会貢献, 地域貢献に熱意を持つ方
 着任時期 2012年10月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績, (3)教育業績, (4)その他の業績, (5)今後の活動の抱負, (6)これまでに獲得した研究助成リスト, (7)主要な研究業績の別刷 (3編以内), (8)応募者について所見を求め得る方3名以内の氏名・役職・連絡先, そのうち1名の推薦書
 応募締切 2012年6月29日 (消印有効)
 送付先/照会先 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学大学院理工学研究科電子情報工学専攻 情報工学コース長 高橋 寛
 E-mail:takahashi@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9957 Fax(089)927-9973
 その他 詳細は, 本学採用情報Webページ (<http://www.ehime-u.ac.jp/information/employment/teacher.html>) を参照ください

■情報・システム研究機構国立情報学研究所

- 募集人員 准教授, 助教 各若干名(教授採用を考慮する場合もある, 助教は任期付き)
- 研究開発分野 ①情報学プリンシプル研究分野, ②アーキテクチャ科学研究分野, ③コンテンツ科学研究分野, ④情報社会相関研究分野, ⑤新たな情報学を拓く研究分野
- 応募資格 博士の学位取得または取得見込みの者(人文・社会科学系の研究者にあつては, これに準じる方を含む)
- 着任時期 原則として2013年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書(別紙様式1):希望研究部門(研究開発分野), 希望職種(准教授, 助教等)を記入のこと, (2)研究業績(別紙様式2):論文, 著書を公表年順に記載し, 主要業績の別刷(3編, コピー可)各3部を添付すること, (3)学会における活動状況(別紙様式3), (4)職域における活動状況(別紙様式4), (5)社会における活動状況(別紙様式5), (6)推薦書/照会先:推薦書がある場合, 同封すること. 推薦書がない場合, 応募者の業績について照会できる方の氏名, 連絡先を記すこと, (7)就任後の抱負:任意の様式による(2000字程度) ※別紙様式1~5についてはWebページからダウンロードしてください
- 応募締切 2012年6月29日(必着)
- 送付先 〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 「情報・システム研究機構国立情報学研究所長」宛
「応募書類在中」と朱書き書留郵便にて送付のこと *応募書類は返却しません
- 照会先 情報学プリンシプル研究系研究主幹・教授 山田茂樹 E-mail:koubo@nii.ac.jp
- その他 書類審査および面接による, 面接は書類審査合格者を対象とし, これにかかわる旅費, 宿泊費等は自己負担となります
より詳細な応募要領はWebページ(<http://www.nii.ac.jp/>)を参照のこと

■筑波大学システム情報系

- 募集人員 准教授, 助教 各1名, または, 助教 2名(任期は着任日から2017年3月31日まで)
- 専門分野 クラウドシステム, 分散システム, eラーニングシステム, Webシステムにかかわる情報工学分野
- 職務 次の職務を担える方. 文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」において全国規模利用が行われるeラーニング・クラウドシステムを構築・推進する業務(参考 http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1319081.htm), 筑波大学学術情報メディアセンター教育クラウド室においてeラーニング・クラウドシステムを構築・推進する業務(参考 <http://www.moodle.tsukuba.ac.jp/index.html>), システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻および情報学群情報科学類における教育(参考 <http://www.cs.tsukuba.ac.jp/>, <http://www.coins.tsukuba.ac.jp/>), 専門分野における研究
- 応募資格 博士の学位を有し(助教の場合は着任時期までに取得見込みも可), 前述の職務を推進する意欲があり, 専門分野において研究業績がある方. 大学や研究機関のセンター業務または大型教育研究プロジェクト等に従事した経験があれば望ましい
- 着任時期 決定後できるだけ早い時期
- 提出書類 (A)履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記), (B)専門分野を表すキーワード:3~5個, (C)教育・研究等の実績(1500字程度), (D)研究業績リスト(学術論文・著書は, (1)査読付き国際雑誌論文, (2)同国内雑誌論文, (3)同国際会議論文, (4)同国内会議論文, (5)解説論文, (6)著書, (7)それ以外の主たる研究発表に区分し, 新しい順に並べ(新しいものが先), 冒頭に全体通し番号を付してください. また, その中で代表的論文といえるもの5編以内の通し番号直後に星印(*)を付けてください), (E)代表的論文別刷(5編以内, コピー可), (F)教育, 研究および本業務に対する抱負と自己アピール(1500字程度), (G)意見を求め得る方2名の氏名・所属・連絡先
- 応募締切 2012年6月29日(必着)
- 送付先 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学学術情報メディアセンター センター長 和田耕一
「クラウドシステム教員応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却いたしません
- 照会先 筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻教授 学術情報メディアセンター教育クラウド室室長 加藤和彦 E-mail:kato@cs.tsukuba.ac.jp Tel:(029)853-5514,5163,6890
- その他 書類選考の後, 面接選考(プレゼンテーションを含む)を実施します

■芝浦工業大学デザイン工学部デザイン工学科

募集人員	教授、准教授または助教 1名(常勤。助教は任期最長5年間の期限付き採用、ただし新規採用時から3年後に准教授への昇格の途あり)
所属	メカトロニクスシステム・組込みソフトウェア分野
専門分野	デザイン工学を指向するソフトウェア工学
担当科目	ソフトウェア設計論・同演習、オブジェクト指向プログラミング・同演習、プロジェクト演習(当該分野関連の演習)などに関する科目
応募資格	(1)当該分野で博士の学位を取得していること、(2)デザイン工学部における教育に熱意を持ち、真摯に取り組めること、(3)教授、准教授の場合は、大学院の教育・研究を担当できること、(4)助教の場合は、原則ポスドク研究員あるいは研究職として2年以上の経験があること
着任時期	2013年4月(予定)
提出書類	(1)履歴書、(2)業績リスト：研究業績(学術論文、国際会議論文、口頭発表、著書、特許など)、教育実績(実施機関、実施期間、科目名など)、(3)研究費の導入実績(科学研究費補助金、その他)、(4)最近5年間の主要学術論文別刷(コピー可)、(5)教育と研究に対する考え方(1000字程度)、(6)推薦書(自薦の場合は本人について所見が述べられる方2名の氏名と連絡先、他薦の場合は1名以上の推薦書)、(7)学会および社会における活動歴、(8)賞罰
応募締切	2012年7月25日(必着)
送付先	〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14 芝浦工業大学デザイン工学部長 篠崎道彦 [応募書類(ソフトウェア工学)]と朱書き簡易書留または配達記録 *原則として、応募書類は返却いたしません
その他	[選考方法]書類審査、面接(プレゼンテーション含む)。面接の際の交通費は自己負担となります ご応募いただいた書類に記載された個人情報、採用審査の目的以外には利用いたしません

■山形大学大学院理工学研究科

募集人員	教授または准教授 2名
所属	情報科学分野
専門分野	情報科学の基盤分野から先端的应用分野までの全般
担当科目	画像工学、暗号とセキュリティ、計算理論、情報計画工学、データベース論、論理回路、電気回路、電子回路、計算機基礎、技術者倫理など
応募資格	博士の学位を有し、大学院博士後期課程の教育・研究指導ができる方(詳細はその他を参照)
着任時期	2012年10月1日以降のなるべく早い時期
提出書類	(1)履歴書、(2)研究業績リスト、(3)教育に関する実績・抱負、(4)研究に関する抱負と情報科学分野での意義、(5)学会活動、地域貢献等の社会活動実績、(6)組織内業務と管理・運営等の実績、(7)自己アピールしたいこと、(8)主要学術研究論文5編以内、(9)応募者について参考意見を伺える2名の方の所属・氏名と連絡先 ※以上の書類すべてをできるだけ1つのpdfファイルにし電子メール(10MB以下)もしくはCDで
応募締切	2012年7月25日(必着)
送付先/照会先	〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 山形大学大学院理工学研究科情報科学専攻長 平中幸雄 E-mail:zioi@yz.yamagata-u.ac.jp Tel(0238)26-3322
その他	詳細はWebページ(http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/openposi/)をご覧ください

■北見工業大学情報システム工学科

募集人員	助教 1名(任期5年。ただし、審査により3年(1回)延長可能。また、条件を満たせば昇任可能)
専門分野	知識工学関連分野
担当科目	プログラミング関連実験演習科目
応募資格	(1)博士の学位を有する方、または着任までに取得が確実な方、(2)教育研究に意欲を持って取り組める方、(3)外国語を母国語とする方の場合には、学生指導を含め学内諸業務の遂行が可能な日本語能力を有していること
着任時期	2012年10月1日以降、2013年4月1日までのできるだけ早い時期
提出書類	履歴書、研究業績リスト、すべての査読付き学術論文別刷(コピー可)、外部資金獲得状況リスト、これまでの研究の概要と今後の教育および研究に関する抱負(各1000字程度)、照会可能な方2名の所属、氏名、連絡先、応募者本人の連絡先(電話番号、E-mailアドレス) ※履歴書、研究業績リストの様式は下記の本学Webページからダウンロードしてください
応募締切	2012年7月27日(当日消印有効)
送付先/照会先	〒090-8507 北海道北見市公園町165 北見工業大学情報システム工学科 学科長 山田浩嗣 E-mail:yamada@cs.kitami-it.ac.jp Tel(0157)26-9339(直通)「情報システム工学科助教応募書類在中」と朱書き書留
その他	[選考方法]1次選考(書類審査)を通過した方について面接による選考を行います。なお、面接に伴う旅費等は応募者の負担となります。詳細は本学Webページ(http://www.kitami-it.ac.jp/)内の教員公募を参照ください

■筑波大学システム情報系

募集人員 テニユアトラック助教 1名
 専門分野 社会工学, 情報工学, 知能機能工学, 構造エネルギー工学のいずれか
 応募締切 2012年7月27日(当日消印有効)
 照会先 筑波大学システム情報系 教授 阿部 豊 E-mail:tenure-track@esys.tsukuba.ac.jp
 その他 「テニユアトラック普及・定着事業」プログラムによる教員公募
 詳細はWebページ (<http://ttWeb.sec.tsukuba.ac.jp/koubo.html>)をご覧ください

■有明工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員 准教授もしくは助教 1名
 専門分野 情報工学, ソフトウェア工学
 担当科目 人工知能, データベース, 情報処理システム, 情報系実験・演習など
 応募資格 (1)博士の学位を有する方, または近い将来博士の学位を取得する見込みがある方(博士の学位取得見込みの方は3年間の任期付き助教として採用し, その間に学位を取得すれば, 任期の定めを外します), (2)教育・研究および学生指導に熱意がある方
 着任時期 2013年4月1日
 提出書類 (1)履歴書(市販の様式可, 氏名は本人自筆), (2)研究業績リスト(著書, 論文, 学会等における発表, 特許, 報告などでA4用紙, 様式任意), (3)主要研究業績の別刷(5編以内, コピー可), (4)主要研究業績概要(A4用紙1枚程度, 様式任意), (5)教育, 研究および学生指導に対する抱負(A4用紙1000字程度, 様式任意), (6)推薦書, または応募者について問合せ可能な方の氏名・所属と連絡先
 応募締切 2012年7月31日(必着)
 送付先/照会先 〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150 有明工業高等専門学校 電子情報工学科長 菅沼 明
 E-mail:suga@ariake-nct.ac.jp Tel(0944)53-8725 (直通), Fax(0944)53-8873
 その他 [選考方法] 第一次選考:書類審査, 第二次選考:面接
 「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り, 女性からの応募を歓迎しています
 詳細はWebページ (<http://www.ariake-nct.ac.jp/5/k20120406.pdf>)をご覧ください

■長岡技術科学大学工学部

募集人員 准教授または講師 1名(テニユア・トラック教員, 2017年3月31日までの任期)
 所属 産学融合トップランナー養成センター
 専門分野 情報通信システム工学, 知能・知識情報工学, 情報融合創成工学
 応募資格 博士の学位取得後10年以内の方で, 上記の専門分野に該当する領域において, 研究を推進している方を対象(応募資格の詳細は下記Webページに掲載)
 着任時期 2012年10月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)応募申請書:履歴書, 研究業績リスト(著書, 論文, 総説・解説, 特許), 外部資金獲得状況, 受賞・表彰, 特記事項, (2)主要論文別刷(5編以内), (3)これまでの研究成果の概要(A4用紙2枚以内), (4)産業界との密接な連携(産学融合)を念頭においた, 本学における研究計画の概要(A4用紙2枚以内), (5)可能であれば照会先2名の氏名, 所属, 住所, 連絡先, E-mailアドレス, 電話番号 ※上記(1)~(5)の応募書類(正1部, 副1部)を提出
 応募締切 2012年7月31日(必着)
 送付先 〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1 長岡技術科学大学 若手人材選考委員会
 「テニユア・トラック教員応募」と明記 *応募書類は返却しません
 照会先 若手人材選考委員会 古川 清 E-mail:toprun@vos.nagaokaut.ac.jp
 その他 任期について:採用後3年目に中間評価を受け, 特に優れた方はこの時点でテニユア教員へ決定. また, 5年目にテニユア審査を行い, 審査に合格した場合はテニユア教員として採用が決定されます
 公募の詳細は, Webページ (<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/annai/NUT-toprun/NUT-toprun.html>)を参照してください

■和歌山大学システム情報学センター

募集人員 助教 1名(常勤)
 職務内容 (1)情報システムの構築・管理・運用・障害対応および情報セキュリティ対策, (2)情報化推進構想・戦略の策定および推進, (3)情報関連の教育研究, (4)その他のシステム情報学センターの業務
 専門分野 情報科学, 情報関連分野
 応募資格 修士以上の学位を有する方(博士の学位を有することが望ましい). 情報科学あるいは情報システム等に関する知識を有する方
 着任時期 2012年10月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 2012年7月31日(必着)
 照会先 副センター長 教授 内尾文隆 Tel(073)457-8075
 その他 詳細はWebページ (<http://www.center.wakayama-u.ac.jp/employ/>)を参照ください

■芝浦工業大学工学部通信情報学群情報工学科

募集人員 教授, 准教授, または助教 1名 (助教は任期3年, その後審査により1年ずつ通算5年まで延長可. 審査により准教授への昇格あり)
 専門分野 オペレーティングシステム (リアルタイムOS, 並列分散OS, セキュアOS等)
 担当科目 「オペレーティングシステム」, 「システムプログラミング」, 「組込みシステム」, プログラミング演習科目等
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院を担当でき, 情報工学の基礎系に造詣が深く, 応用分野も担当できること
 着任時期 2013年4月1日
 提出書類 (1)履歴書 (学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), (2)研究業績リスト (査読付き論文, 査読付き国際会議, その他の論文 (口頭発表を含む), 著書を区別. すべての著者名を記載. 年号は西暦. 分類ごとに最新のものから番号順), (3)主要論文別刷 (最近のものを5編以内. コピー可), (4)教育に対する抱負 (A4用紙2枚以内), (5)研究に対する抱負 (A4用紙2枚以内), (6)推薦書
 応募締切 2012年8月22日 (必着)
 送付先 〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5 芝浦工業大学工学部情報工学科 「教員公募書類在中」と朱書き書留
 照会先 情報工学科 主任 平川 豊 E-mail:hirakawa@sic.shibaura-it.ac.jp Tel:(03)5859-8509

■茨城大学工学部情報工学領域

募集人員 助教または准教授 1名
 専門分野 情報工学・情報科学分野. ソフトウェアやネットワークシステムを専門とする方
 担当科目 情報処理関連講義, 情報工学実験, ネットワーク・ソフトウェアシステムにかかわる講義など
 応募資格 博士学位 (取得見込み含む). 大学院生の研究指導補助ができる方. 教育・研究に意欲を持って取り組める方
 着任時期 2013年4月1日
 応募締切 2012年8月31日 (必着)
 照会先 工学部情報工学領域 羽瀧裕真 E-mail:habuchi@mx.ibaraki.ac.jp Tel:(0294)38-5147
 その他 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り女性の積極的な応募を歓迎します
 詳細はWebページ (<http://www.ibaraki.ac.jp/employment/>)を参照ください

■神奈川大学理学部情報科学科

募集人員 教授, 准教授, 助教 いずれか1名
 専門分野 ソフトウェアサイエンス, ソフトウェア工学, システムソフトウェアのいずれかの分野
 担当科目 ソフトウェア設計の方法論に関する科目とプログラミングに関する基礎科目など
 応募資格 博士の学位を有し, 卒業研究ならびに大学院教育も担当できる方
 着任時期 2013年4月1日 (予定)
 提出書類 (1)履歴書 (本学Webページ (<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>)より書式をダウンロード), (2)教育研究業績書 (書式は任意. ただし, 業績書については査読付き学術誌原著論文, それ以外の査読付き論文 (レター, 国際会議, シンポジウムなど), その他の論文 (研究会報告, 口頭発表, 研究機関紀要, 総説, 解説論文など), 著書・編著, 外部資金獲得状況に分けて記載), (3)主要論文別刷 (5編, コピー可), (4)今までの教育・研究の概要, 本学着任後の教育・研究に対する抱負 (それぞれ1500字程度. ただし後者については教育と研究それぞれの抱負を別文書としてください)
 ※外国籍の方は「外国人登録証明書の写し」を添付してください ※選考の過程で健康診断書の提出を求められることがあります
 応募締切 2012年8月31日 (消印有効)
 送付先 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス 理学部長室 理学部長 齊藤光實
 「(情報科学科ソフトウェア関連)教員応募書類」と明記し書留 *原則として応募書類は返却いたしません. 返却を希望される方はその旨を明記してください
 照会先 理学部 情報科学科主任 後藤智範 E-mail:gotout01@kanagawa-u.ac.jp Tel:(0463)59-4111 (ext.2702)
 その他 詳細はWebページ (<http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>)の理学部情報科学科「ソフトウェアサイエンス, ソフトウェア工学, システムソフトウェアの分野」専任教員公募を参照ください

■成蹊大学理工学部情報科学科

- 募集人員 准教授または専任講師 1名
専門分野 コンピュータネットワーク分野または組込みソフトウェア分野
担当科目 C++プログラミング講義および実験、DB、OS、分散システム等の科目、学部・大学院の研究指導等
応募資格 (1)博士の学位を有する方、(2)プログラミングの授業が担当可能で教育に対する熱意のある方、(3)上記専門分野における研究実績があり、大学院の授業担当・研究指導ができる方
着任時期 2013年4月1日
提出書類 (1)履歴書、(2)研究業績リスト(査読付き学術論文、国際会議論文、解説、著書、特許、口頭発表、外部資金獲得状況、共同研究・受託研究等外部組織との連携等)、(3)主要論文別刷(5編、コピー可)、(4)これまでの研究概要(A4用紙2枚程度)、(5)今後の研究計画、および教育についての抱負(各A4用紙1枚程度)、(6)応募者について照会可能な方2名の氏名・連絡先
応募締切 2012年8月31日(必着)
送付先/照会先 〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 成蹊大学理工学部情報科学科 学科主任 神田芳文
E-mail:kanda@st.seikei.ac.jp 「情報科学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
その他 詳細はWebページ(<http://www.seikei.ac.jp>)から「教職員採用情報」をご覧ください

■法政大学情報科学部デジタルメディア学科

- 募集人員 教授または准教授 1名
専門分野 情報科学・情報工学、特にコンピュータグラフィクス、ビジュアルライゼーション、インタラクティブシステム、仮想現実感、拡張現実感などを専門領域とすることが望ましい
担当科目 コンピュータグラフィクス、情報科学の基礎科目
応募資格 博士の学位を有し、専門分野での研究実績があり、学部・大学院の教育と研究を担当できる方
着任時期 2013年4月1日
提出書類 (1)履歴書(学歴、職歴、学会および社会における活動等)、(2)研究業績リスト(学術論文(査読付き専門誌論文、国際会議論文)、著書・総説・解説・研究報告、学位論文、特許、受賞歴、研究助成などの取得実績)、(3)主要論文別刷(3編、コピー可)、(4)これまでの研究概要(A4用紙1000字程度)、(5)着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙1000字程度)、(6)応募者の研究業績や人物を熟知しており照会が可能な方2名の名前とその連絡先
応募締切 2012年9月28日(必着)
送付先/照会先 〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2 法政大学情報科学部 学部長 雪田修一 E-mail:yukita@hosei.ac.jp
Tel(042)387-4558 「教員応募書類」と朱書き書留 *応募書類は返却いたしません
その他 詳細はWebページ(<http://www.hosei.ac.jp/saiyo/index.html>)をご覧ください

FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム

聴講参加・懇親会参加並びに講演論文集 事前予約申込の御案内

FIT2012Web サイト : <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

電子情報通信学会 (情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーションングループ) と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT (Forum on Information Technology) を開催しており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催致します。

つきましては、聴講参加、懇親会参加並びに講演論文集、DVD-ROMの事前予約申込の御案内を致します。皆様、奮ってお申込み下さい。

聴講参加費は、当日参加よりも事前予約の方がお得になっております。また、講演論文集、DVD-ROMは、FIT開催中にも会場販売を行いますが、残部のある限りということになりますので、確実に御入手頂くには期限内のお申込みをお勧め致します。

会 期 : 2012年9月4日 (火) ~ 6日 (木)

会 場 : 法政大学小金井キャンパス (東京都小金井市梶野町3-7-2)

交 通 : JR中央線新宿駅から快速で21分、東小金井駅下車。

東小金井駅から徒歩約15分、もしくは「武蔵小金井駅行」バス約5分、「法政大学」下車

※お車 (自家用車) での御来場は御遠慮下さい。

■開催イベント企画 [予定]

今回のFITでは以下の講演会、パネル討論等のイベント開催を予定しております。(詳細は逐次FIT2012Webサイトに掲載致します)

[招待講演企画・表彰式]

◎船井業績賞受賞記念講演

5日14:00-15:15 第1イベント会場 (東館2F 講堂 (体育館))

「サイバーアシストからスマートシティへ: ITによる社会のデザイン」
中島 秀之 (公立はこだて未来大学 学長)

◎FIT学術賞表彰式

5日13:00-13:50 第1イベント会場 (東館2F 講堂 (体育館))

[イベント企画]

第2イベント会場 (西館 B1F マルチメディアホール)

4日 9:30-12:00 スマートフォン実世界センシング×コンピューティング

13:00-15:00 e-サイエンス: 超大規模実問題に挑戦するアルゴリズムと計算技術

15:30-17:30 ビジネスで生きる機械学習技術

5日 9:30-12:00 HTML5時代におけるサイバーワールドのインテグレーション

15:30-17:30 高度IT資格制度「情報処理学会モデル」

6日 9:30-12:00 データ活用型科学の将来展開

13:00-16:00 スパース信号処理の最新線

第3イベント会場 (東館 1F E105)

4日 13:00-17:30 第16回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト

5日 9:30-12:00 生体・感覚情報計測技術の基礎

15:30-17:30 情報学研究における質的アプローチの可能性を探る

6日 9:30-12:00 世界初、統一の評価基準に基づく電子透かしコンテストー 昨今の電子透かし技術の実力や如何に! ー

13:00-16:00 安心なスマートフォンの未来を考える〜スマートフォン/タブレットの威力とセキュリティ対策について

■聴講参加費 (税込)

参加区分	事前予約(7/13まで)	当日
会 員	8,000円	10,000円
非会員	17,000円	20,000円
学 生	無料	無料

※会員、非会員の聴講参加費にはプログラム・参加章・DVD-ROMが含まれております。

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は以下の通りです。

会 員 : 電子情報通信学会、情報処理学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会 (IEEK、KICS、KIISE、IEEE/Com. Soc.、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S、IEEE/CS) または情報処理学会と協定を締結した海外の学会 (ACM、

IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI) の個人会員に限りです。

非会員 : 上記の学会会員以外で学生以外の方。

学 生 : 会員/非会員を問わず無料 (DVD-ROMは付きません)。

社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

■懇親会 [予定]

開催日時 : 9月5日 (水) 17:45~19:30

会 場 : 東館 B1F 生協食堂

参加費 (税込) : 社会人 5,000円、学生 2,000円

■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格 (税込)

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集分冊	12,000円/冊	15,000円/冊
講演論文集DVD-ROM	8,000円	55,000円

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊(カバー付き)、DVD-ROM

※分冊は第1~4分冊の予定

※DVD-ROMはプログラム (講演者索引付き) 及び全講演論文収録

※学生の方は、会場にてDVD-ROM学割会場販売価格4,000円

※講演論文集の掲載分野 (分冊構成) [予定]

第1分冊 : モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊 : データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学

第3分冊 : 画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊 : ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム

DVD-ROM : 上記全論文とプログラムを収録

(著者、所属、キーワードによる索引付き)

※FIT 査読付き論文の採択論文は各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

■聴講参加事前予約・講演論文集・DVD-ROMの申込み・送金方法

申込締切 : 2012年7月13日 (金) 必着

申込方法 : FIT2012Webサイトからお申込み下さい。

受取方法 : 講演論文集セットまたは分冊を御希望の場合には「会場受取り」または「FIT終了後郵送 (10月上旬)」のいずれかを選択して下さい。「会場受取り」にされた方には引換券をお送り致します。御来場の際は御持参頂き、総合受付に御呈示下さい。

DVD-ROM (講演論文集セット付属のものは除く) は、すべて事前発送 (8月下旬予定) となります。

送金方法 : 申込締切後、見積・納品・請求書、郵便振替用紙、送金連絡票をお送りしますので送金をお願い致します。

※お支払いは指定の口座へお振込みでお願い致します。FIT会場での現金でのお支払いは一切お受け致しませんので予め御了承下さい。

送金期日 : 2012年10月31日 (水)

■次年度のFIT2013開催

2013年9月 鳥取大学にて開催予定

■問い合わせ (FIT2011幹事学会)

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内

一般社団法人電子情報通信学会 大会・研究会部 FIT担当

Tel. 03-3433-6691 Fax. 03-3433-6659

e-mail : ieicefit@ieice.org

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

CONTENTS

Preface

Cultivation of Human Resources - What Dose "Kokosei Restaurant" Encourage Us to Do? -
Koichi MATSUDA (Information-Technology Promotion Agency, Japan)

Special Features

Quality Assurance of College Level Education

- 646 0. Foreword
Tetsuro KAKESHITA (Saga Univ.)
- 648 1. Measures For Quality Assurance of Higher Education
Technical Education Division, Higher Education Bureau (MEXT)
- 655 2. Investigation Research on Graduate Attributes for Engineering Specialty Concerning Engineering Education
Hiroshi NOGUCHI (Chiba Univ.)
- 661 3. Activity and Contribution of JABEE towards Quality Assurance of Engineering Education and Computing and IT-related Education
Tsutomu KIMURA (Japan Accreditation Board for Engineering Education)
- 667 4. Accreditation of JABEE : From the Industrial View
Yasufumi YOSHIKAWA ((formerly) Hitachi, Ltd.)
- 674 5. Challenges at Faculty of Informatics of Shizuoka University - 3 Educational Programs Offered by a Faculty of 2 Departments Adopted in Distinctive Good Practice
Sanshiro SAKAI (Shizuoka Univ.)
- 678 6. IT Education at Saga University : Building Systematic Education Program and Cooperation among Professors
Susumu MATSUMAE and Tetsuro KAKESHITA (Saga Univ.)
- 682 7. Oita University's Case - Renewing JABEE Accreditation toward Better Education Program : Accreditation under the Seoul Accord -
Yoshimichi OCHI (Oita Univ.)
- 686 8. An Advanced Practical Education "Project-Based Design Practice" through Industry-University Cooperation
Kentaro INENAGA (Kyushu Sangyo Univ.)

- 690 9. Kagawa University's Education Program - A Case of Multiple Technology Field -
Hiroyuki TARUMI (Kagawa Univ.)
- 694 10. Education of Information System Field at Department of Information Established in Faculty of Culture
Kiyotaka KISHINO (Niigata Univ. of International and Informaiton Studies)

Case Study

- 698 13 Years of "File-Management Type" Electronic Medical Record - Essence of the Computerization -
Kouichi MURAKAMI and Takanao MIYASHIMA (Tsuyama Chuo Hospital)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 705 Funding Scheme for Accelerating Innovation
Hideko S. KUNII (Ricoh IT Solutions Co., Ltd.)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

- 706 Oral History : Interview with Dr. Yasui Hiroshi
Noriyoshi ITAZAKI (Osaka Univ.), Naoya UKAI (Fujitsu Ltd.), Chigusa KITA (Kansai Univ.) and Akihiko YAMADA (Computer Systems and Media Lab.)

"Peta-gogy" for Future

- 713 A Robot among Freshmen ?
Noriko H. ARAI (National Institute of Informatics)
- 714 Practice of PBL Education Emphasizing Role-play Training and Establishment of Educational Environment - Received a Highest Award of ISECON 2010
Taichi NAKAMURA (Tokyo Univ. of Technology) and Yasuko KAMINUMA (IPSJ Fellow)
- 718 International Contest on Informatics and Computer Literacy for K12 Students
Susumu KANEMUNE (Osaka Electro-Communication Univ.)



読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 150 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

ご意見をお寄せください!

【7月10日頃までにお出してください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別: (a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号 (2012年7月号) の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a...大変良い b...良い c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

- 巻頭コラム:「高校生レストラン」に想う、人作り 10-1- []
- 特集: 大学教育の質保証
1. 高等教育の質の保証・向上に関する文部科学省の取り組み 10-2- []
 2. 技術者教育に関する分野別の到達目標の設定に関する調査研究 10-3- []
 3. 技術者教育の質保証に向けた JABEE の取り組みとその意義 10-4- []
 4. JABEE 審査の話: 産業界の視点から 10-5- []
 5. 静岡大学情報学部取り組み 10-6- []
 6. 佐賀大学 JABEE 認定プログラムの取り組み 10-7- []
 7. 大分大学の取り組み 10-8- []
 8. 産学連携実践教育「プロジェクトベース設計演習」の取り組み 10-9- []
 9. 香川大学の取り組み 10-10- []
 10. 文系学部設置された情報専門学科における情報システム分野の人材育成 10-11- []
- ファイル管理型電子カルテの13年 10-12- []
- IT好き放題: イノベーション加速のためのファンディング・スキーム 10-13- []
- 古機巡礼/二進伝心: オーラルヒストリー: 安井 裕氏インタビュー 10-14- []
- べた語義: コラム: 東大の新入生がコンピュータ? 10-15- []
- べた語義: ロールプレイ演習を重視した PBL 教育の実践と環境構築 10-16- []
- べた語義: 小中高の生徒向け情報科学コンテスト 10-17- []

- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場: a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- 〔11-3〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他 (具体的に下記にご記入ください)

- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか? 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び(例:10-8の記事の場合は「8」と記入), その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕この記事に対する貴方の立場: a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- 〔12-3〕選んだ理由 (下記から、いくつでも選択可) 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他 (下記に具体的に記入ください)

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

〔13-1〕 大学教育の質保証：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
(スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください)

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事 業／国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図 書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

「大学教育の質保証」特集の本編だけでなく、編集室にまで目を通していただける読者はかなり特別な方でしょう。まずもって、そのことに感謝したいと思います。

本特集はJABEEやJABEE認定プログラムの取り組みに焦点を当てたものです。2011年4月にスタートした本誌の教育コーナー「べた語義」には、「JABEE認定プログラムの取り組みを上げてほしい」という趣旨のご意見をいくつもいただきました。JABEE認定を受けている大学や高専では、教職員だけでなく、多くの学生も「厳格な教育」を日々実践しています。情報処理学会では、JABEEによる審査や基準策定、国際活動等を行うために、毎年100名近い規模の専門家や事務スタッフを動員しています。JABEEの活動は、多数の関係者による基本的に無報酬の努力によって支えられています。本特集は「べた語義」の編集WGが企画したのですが、我々はこうしたさまざまな関係者の顔を思い浮かべながら特集の編集にあたりました。

JABEEによる認定審査が始まってから10年以上経ちますが、受審側の取り組みが学会誌で紹介されたことはなかったと思います。審査を担当する側も、審査業務で多忙をきわめていたことや、守秘義務にまつわる懸念があり、なかなか記事にできませんでした。しかし、その間にJABEEに対する誤解が世間に

広まってしまった一面もあります。本特集では、そうした誤解を解くことを第1の狙いとししました。

本特集の第2の狙いは、高等教育の質保証に取り組んでいる教育機関に対して、実行可能で効果的なアイデアを提供することにあります。本特集では6つのJABEE認定プログラムの取り組みを紹介しましたが、さまざまなヒントを見つけていただけると幸いです。2012年4月号のデジタルプラクティスでは高度IT資格制度に関する情報処理学会の提案が発表されましたが、これはJABEEと関連したさまざまな活動との連携も視野に入れた上で情報社会の将来を展望する取り組みです。

日本が不況から脱して国際競争力を高めるためにも、学生や我々の未来を切り開くためにも、高度な情報系人材の育成は急務です。潤沢な予算を持つ一部の大学だけでなく、多くの大学がこれに取り組むためには、質保証の仕組みを組織的に構築すべきでしょう。そのためには努力が必要ですが、その後の運営は安定的になり、さまざまな改善に取り組む余裕も生まれます。認証評価のように政府から強制されて取り組むのではなく、大学が自主的に取り組むことが、情報専門教育をより良くする上でも重要だと考えています。

(掛下哲郎／本特集ゲストエディタ)



次号(8月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」京速コンピュータ「京」^{けい}

次世代スーパーコンピュータの開発プロジェクト概要／システム概要—世界トップクラスの演算性能と使いやすさを両立—／「京」コンピュータのハードウェア／システムソフトウェア—OS、ジョブ運用ソフトウェア、ファイルシステム—／プログラミング環境／アプリケーションの性能と最適化／基盤技術とRAS／京の施設—京の安定運用を支える基盤—

「小特集」夏休み自作自習小特集

3Dプリンタで遊ぼう／ProcessingではじめるKinectプログラミング—第1回 Kinectプログラミングははじめの一步—

解 説：携帯電話基地局におけるグリーンエネルギーの利用…………… 今成浩巳

RubyのJIS規格化・ISO規格化を祝って…………… 萩谷昌己

報 告：2011年度論文賞の受賞論文紹介／2011年度長尾真記念特別賞紹介／2011年度喜安記念業績賞紹介

教育コーナー：べた語義

コラム：IT先生、エジプトでITを教える／巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

..... 広告のお申込み

■ 広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 23,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 53巻7号 掲載広告(五十音順)

- オーム社.....表2対向 ぶらっとホーム.....表4
 サイエンス社.....目次前

すべての会社を希望

■ 資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

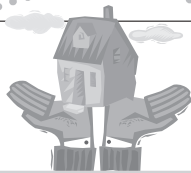
TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (51口～)

HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立製作所

●●● 賛助会員 (20 ～ 50口)

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI

Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ～ 19口)

Google

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ～ 9口)

NTT Data

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic

ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)

●●● 賛助会員 (2口)

KDDI

(株) KDDI 研究所

NTTAT

NTT アドバンステクノロジー (株)

SPC

三協印刷 (株)

JR

鉄道情報システム (株)

KCT

(株) ナレッジクリエーションテクノロジー

放送協会

日本放送協会
放送技術研究所

HITACHI

Inspire the Next

(株) 日立システムズ

インテル (株)

【A～Z】

(株) ATR-Trek
 (株) CIJ
 (株) CSP フロンティア研究所
 (株) HBA
 (株) IT 働楽研究所
 JRC エンジニアリング(株)
 (株) JTB 法人東京 法人営業川崎 支店
 (株) KDDI 研究所
 MHI エアロスペースシステムズ(株)
 NEC システムテクノロジー(株)
 (株) NEC 情報システムズ
 NEC ソフト(株)
 NEC ソフトウェア東北(株)
 NEC フィールディング(株)
 NTT アドバンステクノロジー(株)
 NTT コムウェア(株)
 NTT ソフトウェア(株)
 (株) NTT データ
 (株) NTT データ・アイ
 (株) NTT データ CCS
 (株) NTT データ関西
 (株) NTT データ九州
 (株) NTT データ東海
 (株) NTT データ東北
 (株) NTT ドコモ
 NTT 横須賀研究開発センタ
 (株) OKI ソフトウェア
 (株) PFU
 SCSK (株)
 TIS (株)

【あ行】

アートシステム(株)
 (株) アールティ
 アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 (株) アイ・エス・ビー
 アイシン・インフォテックス(株)
 アイシン精機(株)
 (株) アイズファクトリー
 (株) アイロベックス
 (株) アドバンス・メディア
 (株) アルファシステムズ
 池上通信機(株)
 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
 岩崎通信機(株)
 (株) インテック
 インテル(株)
 インフォサイエンス(株)
 (株) ヴァル研究所
 ヴィスコ・テクノロジー(株)
 (株) うえじま企画
 (株) エクサ
 (株) エス・エフ・シー
 (株) エスケーエレクトロニクス
 エヌ・ディー・アール(株)
 (株) エルザジャパン
 オークマ(株)

(株) 大塚商会
 (株) オーム社
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株)

【か行】

(独) 科学技術振興機構
 (財) 画像情報教育振興協会
 (学) 片柳学園日本工学院専門学校
 (学) 片柳学園日本工学院八王子 専門学校
 関電システムソリューションズ(株)
 (一財) 機械振興協会
 キヤノン(株)
 キヤノン(株) 技術資料センター
 キヤノン IT ソリューションズ(株)
 キヤノンソフトウェア(株)
 (財) 九州先端科学技術研究所
 共立出版(株)
 (株) 近代科学社
 グーグル(株)
 グリー(株)
 原電情報システム(株)
 (株) コア 中四国カンパニー
 (株) 構造計画研究所
 国土館大学情報科学センター
 (独) 国立印刷局研究所
 国立国会図書館
 コニカミノルタテクノロジーセン
 ター(株)

【さ行】

(株) サイエンスハウス
 サクサ(株)
 サクシード(株)
 三協印刷(株)
 三美印刷(株)
 (株) シーエーシー
 (株) ジーダット
 (株) ジェイアールシステム・エンジ
 ニアリング
 (株) ジェイアール東日本情報シス
 テム
 システム・オートメーション(株)
 実教出版(株)
 シャープ(株)
 (株) ジャステック
 (株) ジャストシステム
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (株) 情報科学センター
 (一社) 情報サービス産業協会
 (独) 情報処理推進機構
 (独) 情報通信研究機構
 新日鉄ソリューションズ(株)
 (株) ステラジアン
 住友電気工業(株)
 成城大学メディアネットワークセン
 ター
 (株) セガ

(株) セカンドセレクション
 セコム(株)
 ソニー(株)
 ソニーグローバルソリューションズ(株)
 (株) ソフトウェアコントロール
 (一財) ソフトウェア情報センターソ
 フトウェア特許情報センター

【た行】

拓殖大学
 中国電力(株)
 (株) 中電シーティーアイ
 中部電力(株)
 中部日本電気ソフトウェア(株)
 通研電気工業(株)
 ティーディーシーソフトウェアエン
 ジニアリング(株)
 テービーテック(株)
 デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (公財) 鉄道総合技術研究所
 (社) 電子情報技術産業協会
 (株) デンソー
 (株) デンソーアイティラボラトリ
 (株) デンソークリエイト
 (株) 電通国際情報サービス
 (財) 電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 (株) 東芝
 東芝インフォメーションシステムズ
 (株)
 東芝システムテクノロジー(株)
 東芝情報システム(株)
 東芝ソリューション(株)
 東芝テック(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 東芝メディカルシステムズ(株)
 (株) 東和システム
 トーヨー企画(株)
 特許庁
 トップパン・フォームズ(株)
 (株) トヨタコミュニケーションシス
 テム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所
 (株) トヨタデジタルクルーズ
 (株) ドワンゴ

【な行】

(株) ナレッジクリエーションテクノ
 ロジー
 (株) ニコンシステム
 日鉄日立システムエンジニアリング
 (株)
 日本アルゴリズム(株)
 日本科学未来館
 (株) 日本情報システムサービス
 日本電気(株)

(株) 日本電気特許技術情報セン
 ター
 日本アイ・ビー・エム(株)
 (社) 日本化学会
 日本銀行
 日本原子力研究開発機構
 日本証券テクノロジー(株)
 (一社) 日本情報システム・ユーザ
 協会
 日本信号(株)
 日本電子計算(株)
 日本電信電話(株)
 (株) 日本トラフィックコンピュー
 ターセンター
 (一財) 日本品質保証機構
 日本放送協会 放送技術研究所
 日本マイクロソフト(株)
 日本無線(株)
 日本ユニシス(株)
 (株) 日本旅行
 (株) 野村総合研究所

【は行】

(株) ハイエレコン
 パイオニア(株)
 萩原電気(株)
 (有) パクサリー
 パナソニック(株)
 パナソニック(株) AVC ネットワー
 クス社
 パナソニック(株) エコソリューションズ
 社
 パナソニック MCE (株)
 パナソニック システムネットワー
 クス(株)
 パナソニック モバイルコミュニ
 ケーションズ(株)
 (株) ハピネット
 (株) ビーコン インフォメーション
 テクノロジー
 日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア(株)
 (株) 日立アドバンスデジタル
 (株) 日立国際電気
 (株) 日立システムズ
 (株) 日立情報制御ソリューションズ
 (株) 日立製作所 情報・通信シス
 テム社
 (株) 日立製作所 中央研究所
 (株) 日立製作所 中国支社
 (株) 日立製作所 東北支社
 (株) 日立製作所 横浜研究所
 (株) 日立ソリューションズ
 (株) 日立中国ソリューションズ
 (株) 日立テクニカルコミュニケー
 ションズ
 (株) 日立東日本ソリューションズ
 日立ビジネスソリューション(株)
 (株) ファースト
 (株) フォーカスシステムズ
 (株) フォーラムエイト

- | | | | |
|-----------------------|----------------------|-------------------------|-------------------|
| (株)福岡CSK | ぶらっとホーム(株) | ムズ(株) | 横河電機(株) |
| (株)フジキカイ 名古屋工場 | 古野電気(株) | 三菱電機コントロールソフトウェア(株) | 【ら行】 |
| 富士通(株) | ペンギンシステム(株) | 三菱電機コントロールソフトウェア(株) | 楽天(株) |
| (株)富士通アドバンスドエンジニアリング | 北陸電力(株) | (株)伊丹事業所 | リードエグジビジョンジャパン(株) |
| (株)富士通エフサス | (株)堀場製作所 | 三菱電機情報ネットワーク(株) | (株)リコー |
| (株)富士通九州システムズ | (株)本田技術研究所基礎技術研究センター | 三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株) | (株)リナックス総合研究所 |
| (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ | 【ま行】 | (株)三菱東京UFJ銀行 | (株)リンクレア |
| (株)富士通長野システムエンジニアリング | マツダ(株) | 三菱プレジジョン(株) | |
| (株)富士通北陸システムズ | 三井情報(株) | 武蔵野美術大学 | |
| フジテック(株) | (株)ミックナイン | (株)メイテツコム | |
| 富士電機システムズ(株) | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株) | 【や行】 | |
| 富士フィルム(株) | 三菱スペース・ソフトウェア(株) | ヤフー(株) Yahoo! JAPAN 研究所 | |
| 船井電機(株) | 三菱電機(株) | ヤマハ(株) | |
| フューチャーアーキテクト(株) | 三菱電機インフォメーションシステム | | |
| ブラザー工業(株) | | | |

注) 一般社団法人・一般財団法人・公益財団法人はそれぞれ(一社)・(一財)・(公財)と省略した。



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな?

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし!
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!

申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

協力協定学会との正会員会費相互割引について

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/member/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率 (正会員会費が割引対象)

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/annai/kanrenlink/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。
 正会員会費割引申請フォーム (<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)
 初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。
 ※これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書(正会員) (https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先: 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375